

令和6年度都立農産高校 定時制課程 における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	「書くこと」の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項についての確認 ・単元ごとに教科会で指導内容を確認する ・自分の考えを表現することを目指した作文活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書ポップ作りの実施 ・進路指導部と連携した基本的な文章の書き方に関する授業の実施
地理歴史	基礎的な学習事項の理解・定着を図る教育活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実情や能力に適合した教科書の選定 ・教科書内容に沿ったプリントの作成と学習内容の定着や達成度を測定するための考査の実施 	社会的な見方・考え方を働かせ、社会や生活の中の問題解決に対し、考察を深め主体的に改善しようとする態度を育てるような教育活動の実施
公民	基礎的な学習事項の理解・定着を図る教育活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実情や能力に適合した教科書の選定 ・教科書内容に沿ったプリントの作成と学習内容の定着や達成度を測定するための考査の実施 	グローバル化する社会や生活環境の中で主体的に生き判断できる公民的資質・能力を育てるような教育活動の実施
数学	基礎的な学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善に努め、丁寧で分かりやすく、学習意欲を高められるような授業実践 ・日常的な補習、勉強会の実施 	教科書に無い内容の紹介など、習熟度に差がある生徒集団に対して、個々の生徒の実情に合った学習指導の実現
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活と理科の関連付け ・観察の技能の習得 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活と関連した題材を重点的に扱う ・観察、実験の機会を月に1回以上取り入れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活を通して生徒が発見した課題を解決する探究活動の実施 ・観察から発問、仮説の設定を生徒自身が行う探究活動の実施
英語	基礎基本の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・small step を大切に、生徒に達成感を持たせる ・毎回の授業で一人一回の発言の機会を設ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTとの授業で、みんなの前で発表を行う ・生徒同士で簡単な英語での会話を行う
農業	「課題研究」につなげる学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・1～3年で専門科目の基礎知識を身に付けさせる ・実習の記録（レポート）作成を重視し、実習を伴う授業で重点的に取り組ませる 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本農業技術検定3級を3年12月に受験する ・4年「課題研究」で自らテーマを設定し計画・実施・まとめ・発表を行う
体育	「基礎的な体力づくり」の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で体力テストの結果の課題と取組についてを共有 ・体の動かし方や体の動きを高める方法について授業中に取り入れる ・勝敗よりも体を動かすことの楽しさを味わえるトレーニングを取り入れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種目2回、実技テストを実施する ・授業の最初に柔軟と体幹トレーニングを実施する ・心と体を一体として捉え、心の健康状態について目を向けられるようにする
保健	健康課題を改善する力を身に付ける指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な運動、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠の大切さについて複数の事例を用いて説明する ・基本的な生活習慣を確立するために自身の生活習慣について定期的に振り返りをする ・健康課題についての改善点についてグループで検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康課題の取組についてパワーポイントにまとめて発表する ・個人だけでなく社会全体の健康課題について目を向ける活動を行う

芸術	<ul style="list-style-type: none"> ・興味や関心を考慮した学習活動 ・効果的な教科書の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始時に本時の学習内容とねらいを明確にする ・単元や実習時における効果的な教科書の活用と話し合いの場の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内行事参加、学習成果の公開
情報	<p>情報を主体的に活用するための学習活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・データ収集と情報分析のための探求活動を実施する ・次世代の情報社会に対応するための情報活用能力を充実する 	<ul style="list-style-type: none"> ・重要データの収集と分析の情報実習を行う(プログラミング、デザインを含む) ・最新の情報ツールの仕組みを理解し現代社会において、どのような場面で活用されるのかをシミュレーションし理解を深める(最新技術予測を含む)
商業	<p>PC基本操作の学習。社会に出て困らない基礎的な操作を習得する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチメソッドの練習 ・ローマ字入力の練習 ・Word、Excel、PowerPoint基本操作の習得 ・練習問題を毎時間練習 	<ul style="list-style-type: none"> ・全商協会の問題集を利用し、模擬問題に取り組む ・まず、一人で考え課題に取り組む
家庭基礎	<p>家庭科で学んだことを、実生活において振り返り、生活を改善する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の授業での活動、姿勢、提出物が提出できているかを確認しながら、実習などの実体験を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習などの実体験を増やし、生涯を見通した自己の生活について理解し、問題を見出し、解決策を構想することができるようにする